

校長室 だより

令和3年6月4日（金）

羽咋市立瑞穂小学校 No. 6



共 育

一緒に読書を

6月に入り、衣替えをし、子どもたちはより活発になり、夏に向かっていと感じます。これからは、暑さも増してくる時期になります。コロナ対策に加え、熱中症にも十分に気をつけながら教育活動に取り組んでいきます。

6月の全校児童集会では、「たくさんの本を読もう」という話をしました。読書をする事で、「脳が活性化し、記憶力が高まる」「集中力がつく」「いろいろな考えが浮かぶ」「心が落ち着く」など、効果がたくさんあることを伝えました。

読書している様子から、自分が分かる部分だけを読み、読めない漢字や意味の分からない言葉はとばして、なんとなく筋をたどっているだけで、自分なりの考え方でしか文章を読んでいないことがあります。

これからは、ぜひ、「主人公は何で今こんなことを言ったのだろう?」とか「この言葉の意味は、何だろう?」といった疑問に思ったことや分からないことを、立ち止まり考えたり調べたりしながら読んで欲しいと思います。そうすることで、より国語の力が付くと言われていきます。

そのためには、保護者の皆さんも子どもが読んでいるその本を読み、感想を話し合う機会を作ってみることがより効果的です。話し合えば、理解できていない部分や言葉が見えてくるので、「分からないところがあれば聞いてね」とか「こう読む方が面白いよ」といった言葉をかけることができ、文書から作者の意図をくみ取ろうと考えながら読む感覚に近づける努力を一緒にしてあげることができます。

コロナ禍の折、自宅にいる時間が多くなっていると思うので、一緒に読書する機会を設け、話し合う時間を作ってみてください。



一斉オンライン授業が無事できました

6月2日（水）に2～6年生で、一斉にオンライン授業を行いました。これは、羽咋市内全ての小中学校で実施しました。本校では、全ての児童が参加することができました。事前に、Wi-Fi接続の手続きをしていただいたおかげです。ありがとうございました。

これからは、家庭学習やお便りのペーパーレス化に伴い、1人1台の端末を家に持って帰る機会が増えてきます。ルールや約束を確認し、有意義に使えるようお願いいたします。

